第３１回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

〇開催日時　令和４年６月６日（月）１４００～１５００
〇場　　所　峰山総合福祉センター　２階コミュニティホール
〇出 席 者　【京丹後市】副市長
　　　　　　【京都府】総務部副部長
　　　　　　　　　　　丹後広域振興局地域連携・振興部長（丹後広域振興局長代理）
　　　　　　【京都府警察本部】警備部理事官（警備第一課長代理）
　　　　　　【京丹後警察署】警備課長（京丹後警察署長代理）
　　　　　　【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会委員（会長代理）
　　　　　　　　　　　　　　京丹後市宇川連合区長会会長
　　　　　　　　　　　　　　京丹後市防犯委員会会長
　　　　　　　　　　　　　　京丹後市交通安全指導員会会長
　　　　　　　　　　　　　　京丹後市女性連絡協議会副会長、理事
　　　　　　　　　　　　　　京丹後市袖志区、尾和区、中浜区、島津連合区各区長
　　　　　　【米軍経ヶ岬通信所】第１４ミサイル防衛中隊長
　　　　　　【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第３５警戒隊長
　　　　　　【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

〇米軍経ヶ岬通信所司令官の挨拶

・　第１４ミサイル防衛中隊が地域の皆様と交流するため、イースターエッグハント等これまでのイベントの開催や支援に御尽力いただいた関係者の皆様に対して、感謝する。
・　私たちは、最近発電機をより静音性の高い新しいモデルに更新した。引き続き、可能な限り発電機の使用をメンテナンスや必要不可欠な場合に限定した稼働に努める。なお、緊急時の稼働は避けられないことを御理解お願いする。
・　近々、私（司令官）は経ヶ岬から離れるが、私の後任には良き隣人である必要性を引き継ぐ。私を皆さんの地域の一員として受け入れていただき感謝する。

〇防衛局の説明・構成員の意見等の概要

（１）交通事故の状況等

【説明要旨】

・　米軍関係者による交通事故について、３月から５月末までの間で、物損事故２件。
・　地元と米軍との交通安全に資する情報共有については、３月から５月末までの間に、クマの目撃情報が１件あり、速やかに地元と米軍において情報共有がなされている。
・　昨年３月から本年５月末までの間における野生動物に関する目撃情報を取りまとめた資料を作成し、交通安全に資する情報として、米軍に提供した。交通安全に資する情報を地元と米軍が相互に交換することは非常に有意義であり、引き続き、地元と米軍との交通

事故の未然防止対策に努める。

- 米軍においては、引き続き、交通安全講習会への参加や通信所関係者に対する安全運転の注意喚起などに取り組み、交通事故の未然防止の徹底を図るようお願いする。

（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

- 軍人の基地内での居住が始まったが、軍人の方が週末等に買物やレジャー等のために基地から市街地へ自家用車で移動する機会が増えると考えられる。引き続き、米軍関係者の交通ルールの遵守、安全運転の徹底などにより、交通事故の未然防止をお願いする。

（京丹後市）

- 今後も交通事故に対する効果的な未然防止策を講じ、米軍関係者への交通安全教育を徹底されたい。（京都府）
- 道路事情に慣れてきたせいか、スピードが出ている車両が増えてきているという声を聞いたことがあるため、基地関係者へ注意喚起を行ってほしい。また、府にお願いだが、道路沿いの草木等見通しが悪い箇所があるので、草刈等の対応をお願いしたい。

（地域住民代表）

【回答要旨】

- 交通事故の未然防止対策として、これまでに交通安全マップやポスターの作成・配布、交通安全講習会の実施等、各種施策に取り組み、近年では、地域の交通安全の確保に必要な情報の提供として、野生動物の目撃情報等の情報に接した場合には、速やかに地元と米軍において情報共有が行われている。引き続き、各種施策に取り組み、交通事故の未然防止対策に努める。
- スピードの出ている車両が増えてきているという声があったことについては、米軍等に共有する。（近畿中部防衛局）

（２）新型コロナ感染症対策

【説明要旨】

- ５月に経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者１名が、出国の際の検査において新型コロナウイルスの陽性であることが判明し、地元の保健所と米側との間で調整が行われるとともに、当局からも、速やかに地元にお知らせした。
- この米軍関係者は、空港所在地の宿泊施設に隔離され、管轄の保健所により健康観察が実施され､濃厚接触者もいなかった。（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

- 今回新たに判明した陽性者については、適切に対応されたと認識している。引き続き、経ヶ岬通信所において基本的な感染防止対策を徹底されたい。（京丹後市）
- 今回新たに判明した陽性者については、感染拡大に繋がらず、早期に濃厚接触者がいな

いことが確認された。引き続き、正しいマスクの着用等、通信所内や居住地等における感染症対策について徹底し、今後も米軍関係者の新たな陽性が判明した場合には、保健所の調査等に対し、積極的に協力されたい。（京都府）

【回答要旨】

・　米側においては、施設内でもマスクの着用の継続等感染対策が図られており、今後新たに陽性が判明した場合には、保健所の調査等に積極的に協力し、連携して対策を講じるよう、米側と調整したい。（近畿中部防衛局）

（３）発電機の更新

【説明要旨】

・　今回の発電機の更新については、発電機の老朽化に伴い更新するものであり、事前に地元にお知らせし、４月２０日頃から５月１６日頃にかけて実施された。発電機の試運転については、土日・夜間の稼働はなかった。（近畿中部防衛局）

【質問・意見要旨】

・　発電機の稼働時に発生する騒音レベルは更新前と比べてどうなのか説明願いたい。また、メンテナンス等で発電機を稼働する必要がある場合でも、平日の日中に限定するようお願いする。（京丹後市）
・　更新された発電機の騒音について、更新前の発電機との比較などにより、調査・確認をお願いする。また、発電機の稼働に当たっては、稼働時間を平日日中に限る等、地域住民に与える影響を最小限とする騒音対策の徹底をお願いする。（京都府）

【回答要旨】

・　米側からは、より静音性の高い発電機を導入したと聞いている。当局としても、現地連絡所職員により発電機稼働時の状況を確認しており、体感としては聞こえなかったり、僅かに聞こえる程度であると認識しており、静音性は高くなったのではないかと考えている。
・　今回の試運転については、土日・夜間の稼働はなかったところであり、今後とも緊急時を除き土日・夜間の稼働は控えるよう米側と調整する。（近畿中部防衛局）

（４）水質調査及び藻場分布状況の確認

【説明要旨】

・　米軍の浄化槽は、隣接する空自基地と同様の仕様で日本製と承知しており、また、米側は、日本の浄化槽法が定めるところと同様、毎年１回の排出水の水質検査を含め、日本で行われている管理と同様の保守・点検を行い、周辺環境に影響を及ぼさないように努めている。
・　さらに、当局においては、地元の御要望を踏まえ、処理水の排出による海の環境への影響を確認するため、周辺海域の海水の水質調査と藻場分布状況の確認を排出開始の前後で

比較できるよう、継続的に調査を行っている。
- 今年３月の排出開始後２回目の水質調査及び藻場分布状況の確認結果は、水質については環境基準値内であり、藻場の分布状況については、これまで令和２年６月と令和３年７月に実施し、今回は令和４年３月に実施したことから、今後、同時期に藻場の分布状況についての確認を行った上で比較したい。
- 次回の調査の実施時期については、浄化槽の稼働状況及び地元の意見を踏まえつつ検討する。（近畿中部防衛局）

【意見要旨】
- 水質調査と藻場分布状況確認について、今後も継続的に実施されたい。また、浄化槽の維持管理について、日本の環境基準と同様に行われるようお願いする。（京丹後市）
- 隊舎への入居を踏まえ、周囲に影響がないよう引き続き浄化槽の適切な管理に努めてもらいたい。水質調査と藻場分布状況確認について、継続的に調査を実施し、分析結果について、周辺環境への影響等について分かりやすい形での報告をお願いする。（京都府）
- 隊舎への入居により浄化槽による処理水の量が増えると考える。浄化槽の検査結果を共有されたい。（地元住民代表）

【回答要旨】
- 米軍による浄化槽の水質検査の結果については、米軍と調整していきたい。また、水質調査及び藻場分布状況の確認については定期的に実施したい。（近畿中部防衛局）

（５）日米交流等

【説明要旨】
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、令和２年、３年は極力イベントの実施を控えていたが、４月１６日に京丹後市国際交流協会と米軍経ヶ岬通信所共催のイースターイベントが、京都府丹後文化会館の芝生広場で開催され、約１３０名の親子連れが参加し、子供たちは塗絵、工作等を楽しんでいた。
- ５月２８日、神奈川県キャンプ座間に拠点を置く在日米陸軍軍楽隊が京丹後市を訪れ、道の駅丹後王国「食のみやこ」で京丹後市国際交流協会と米軍経ヶ岬通信所共催の演奏会を実施し、翌２９日には、京丹後市網野町八丁浜で開催された航空自衛隊経ヶ岬分屯基地開庁６５周年イベント「エアフェスタ経ヶ岬２０２２」に参加し、楽曲を演奏した。
- 米軍は、様々な機会をとらえ、創意工夫しながら積極的に地域の方々との交流を図ってきており、良き隣人となれるよう努力している。当局としても、地元の方々との相互理解の促進が重要と考えており、新型コロナウイルス感染症対策のため、まだ対面でのイベントには制約があるものの、より多くの地元の方々に参加していただけるよう引き続き各種交流事業の企画や支援に努めていきたい。（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

・　新型コロナウイルスが終息したとは言えない中で、日米交流事業を実施する際には、主催者において関係者や参加者に対する対策の徹底に留意されたい。　　　（地元住民代表）

【回答要旨】

・　日米交流事業について、少しずつ再開できる環境が整いつつあり、まだ対面でのイベントには制限があるものの、新型コロナウイルス対策を徹底しながら実施していきたい。

（近畿中部防衛局）

（６）その他

【意見要旨】

・　重要土地等調査法について、６月１日に一部施行となり、９月１日には全面施行になると聞いているが、情報共有のため説明をお願いする。当市としては、注視区域等の選定作業中の段階において、仮に注視区域等に指定された場合には、対象となる市民及び地元にはどのような影響があるのか等に関する事前の説明会の実施やこれを踏まえた地方公共団体の意見を述べる機会を必ず確保されるよう強くお願いする。　　　（京丹後市）

【回答要旨】

・　重要土地等調査法については内閣府及び内閣官房の所管となっているが、６月１日に一部施行がなされ、土地等利用状況審議会が設置されたと承知している。地方自治体への意見聴取について、現時点でその内容やスケジュールについて何ら決まったものはないと承知しており、当局としても引き続き情報収集する。　　　（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

・　連絡会は地元にとって重要であり、議事概要は速やかに公表されたい。（地域住民代表）

【回答要旨】

・　議事概要については、関係者への確認等完了次第できる限り速やかに公表する。

（近畿中部防衛局）

以上

令 和 ４ 年 ６ 月
近畿中部防衛局

第３１回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る 安全・安心対策連絡会説明事項

Ⅰ　経ヶ岬通信所における状況等

（１）生活関連施設の見学【資料１】

・　５月２６日に、米陸軍経ヶ岬通信所により、安全・安心対策連絡会の構成員他、地元の関係者を招いて施設内の見学等が開催

（２）三角地の整備【資料２】

・　米側は三角地において、進入路及び入門管理所を整備する計画
・　現在、米側において設計を行っているところと承知しており、早期に整備が行われるよう、今後とも米側と調整

（３）交通事故の状況等【資料３】

・　交通事故の件数等

Ⅱ　住民の安全・安心

（１）交通安全に対する取組

ア　交通安全講習会等【資料４】

・　これまでの開催実績
・　今年度についても引き続き開催を予定しており、次回の交通安全講習会については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ計画予定

イ　集団通勤

・　ワンボックスカーの利用や乗用車の相乗りによる集団通勤を継続して実施

（２）交通誘導及び巡回警備【資料５】

・　交通誘導及び巡回警備業務を継続して実施

（３）水質調査及び藻場分布状況の確認【資料６】

・　令和４年３月１日及び２日に実施した排出開始後２回目（隊舎入居後１回目）の調査の分析結果は資料６のとおり。

・　今後、時期を置いて次回（隊舎入居後２回目）の調査を計画

Ⅲ　日米交流及び地域振興策の状況

（１）日米交流等　【資料７】

・　京丹後市国際交流協会・米軍経ケ岬通信所共催のイースターイベント及び米陸軍軍楽隊演奏会等が開催されたところ

・　新型コロナウイルス感染症の感染状況を見つつ、地元の意見を聞きながら、引き続き各種交流事業を企画及び支援

（２）まちづくりへの支援【資料８】

今年度実施中の防衛省補助事業等

ア　生活・産業関係

・　再編交付金事業　３件
　京丹後市市民総合検診事業ほか

・　障害防止事業　１件
　尾和用水路改修事業

イ　交通環境整備関係

・　道路改修等事業　４件
　浜丹後線（上野平バイパス、宮バイパス）ほか

Ⅳ　その他

（１）近畿中部防衛局広報誌

・　本年８月に「経ヶ岬通信所だより」の第１１号を発行予定

以　上

第31回 米軍経ヶ岬通信所の設置に係る
安全・安心対策連絡会説明資料

令 和 ４ 年 ６ 月

近畿中部防衛局

【資料1】

生活関連施設見学（令和4年5月26日）

米陸軍経ヶ岬通信所により、安全・安心対策連絡会の構成員他、地元の関係者を招いて生活関連施設内の見学等が行われました。

米軍経ヶ岬通信所　第Ⅱ期工事計画図

【資料2】

国土地理院の地理院地図を利用

※第二期工事終了

交通事故について
（令和４年３月～令和４年５月末）

物損事故　２件

【資料３－２】

野生動物目撃情報（2021年3月～2022年5月）
Wildlife sighting information location map (Mar 2021～ May 2022)

単位：件
Unit : Number of cases

	2021年										2022年					計 Total
	3月 Mar	4月 Apr	5月 May	6月 Jun	7月 Jul	8月 Aug	9月 Sep	10月 Oct	11月 Nov	12月 Dec	1月 Jan	2月 Feb	3月 Mar	4月 Apr	5月 May	
シカ Deer	1	1	1		2		4		1	1						11
サル Monkey	2					4	1		1							8
クマ Bear		1						1	2						1	5
イノシシ boar						1	2									3
ヌートリア Nutria		1														1
ニワトリ Chicken	1															1
タヌキ Raccoon	1															1
イタチ Weasel		1														1
計　Total	5	4	1	0	2	5	7	1	4	1	0	0	0	0	1	31

【資料４】

交通安全講習会

○ これまでの開催実績

・平成２６年度
１０月　２日　第１回
１月１６日　第２回

・平成２７年度
５月１３日　第３回
８月２７日　第４回
１２月　９日　第５回
１２月１４日、１５日、２２日　講義
１月２７日　第６回

・平成２８年度
４月　７日　第７回
７月２２日　第８回
１０月２１日　第９回
１２月１３日　第１０回

・平成２９年度
４月１３日　第１１回
７月２４日　第１２回
１２月　５日、１３日　第１３回

・平成３０年度
４月２３日　第１４回
７月２３日　講義
１０月１２日　第１５回
１２月１０日　講義
３月１３日、１４日　講義等

・令和元年度
５月１５日　第１６回
８月２１日　講義
９月２４日　第１７回
１２月１２日　第１８回

・令和２年度
６月２９日　第１９回
１１月２４日　第２０回

・令和３年度
７月２９日　講義
１１月　８日　第２１回

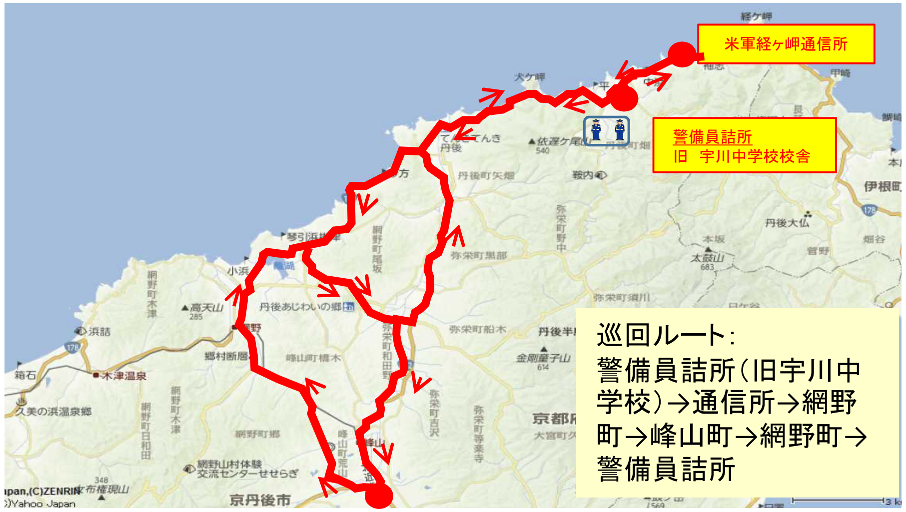
【資料５】

交通誘導・巡回警備実施状況

○ 宇川小学校前での児童の交通誘導

○ 周辺地域の巡回（車両）

○ 周辺地域の巡回（ルート）



水質調査及び藻場分布状況

【資料6】

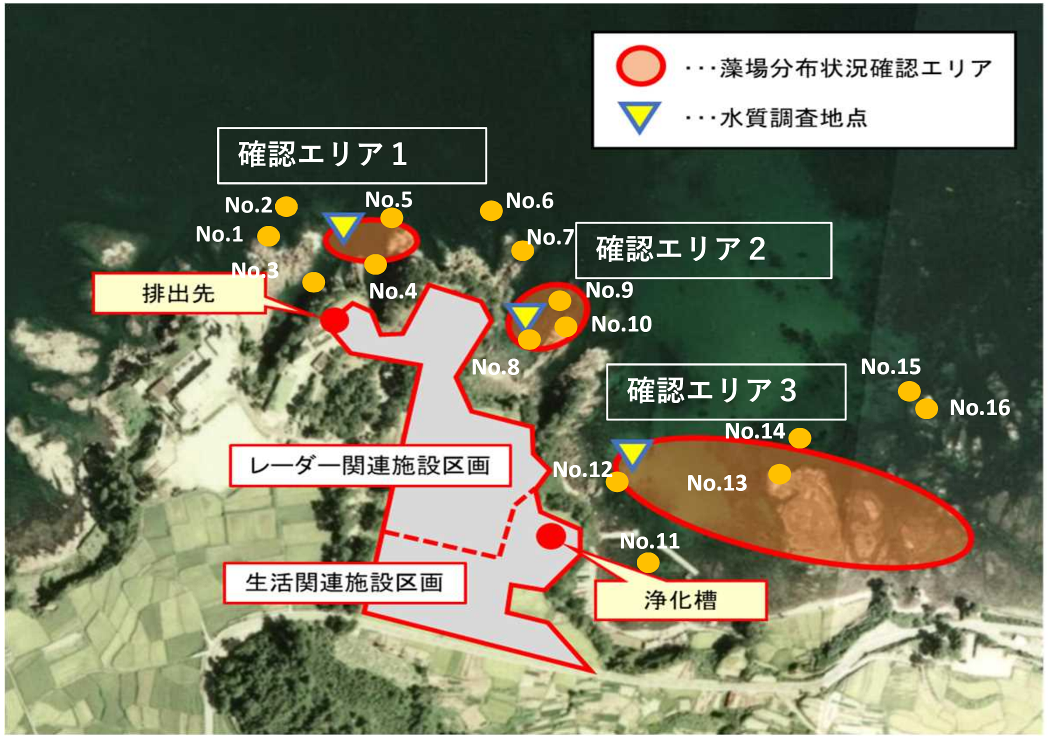
○水質調査及び藻場分布状況の確認について（排出開始後２回目）

・実施日
令和４年３月１日～２日

・水質調査
水質調査地点（３か所）において船上から海水を採取し、各調査項目について分析を行った。

・藻場分布状況の確認
確認エリア（３か所）から代表的な藻場分布箇所を選定し（全１６地点）、海藻草類の生育状況の確認を行った。

・これまでの調査実績
排出開始前：令和２年６月
排出開始後１回目：令和３年７月



○水質調査

調査項目	環境基準値	令和２年度（R2.6.27　排出開始前）			令和３年度（R3.7.2　排出開始後１回目）			令和３年度（R4.3.1　排出開始後２回目）		
		尾和	袖志西側	袖志東側	尾和	袖志西側	袖志東側	尾和	袖志西側	袖志東側
pH	7.8~8.3	8.0	8.1	8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.1	8.2
BOD (mg/L)	2以下 (※１)	1.6	1.7	1.6	0.6	0.7	1.3	1.2	1.2	1.0
COD (mg/L)	2以下	1.2	1.1	1.1	1.5	1.4	1.7	1.4	1.9	1.8
SS (mg/L)	25以下 (※１)	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
DO (mg/L)	7.5以上	7.1	7.5	7.5	7.6	8.5	8.3	9.1	9.8	9.9
大腸菌 (MPN/100mL)	1,000以下	33	23	23	13	13	23	不検出	17	不検出
n-ヘキサン	検出されないこと。	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
全窒素 (mg/L)	0.3以下 (※２)	0.12	0.16	0.15	0.13	0.12	0.12	0.17	0.15	0.09
全燐 (mg/L)	0.03以下 (※２)	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.008	0.012	0.014	0.008

注１　環境基準値は、生活環境の保全に関する環境基準（海域）のA類型を示す。
　２　不検出とは、定量下限値未満をいう（定量下限値：SS1mg/L、大腸菌1.8MPN/100mL、n-ヘキサン0.5mg/L）。

※１　BOD、SSについては、河川基準のA類型を準用している（海域については定めがない）。
　２　全窒素、全燐については、海域基準のⅡ類型を準用している（通信所周辺海域は類型指定されていない）。

地域との交流

イースターイベント

米陸軍音楽演奏会

エアーフェスタ経ケ岬２０２２

令和４年度　防衛省補助事業等実施状況

【生活・産業関係】

●再編交付金事業（基金）・・・３件

事　　業　　名	事業主体
京丹後市市民総合検診事業 成人用肺炎球菌予防接種事業 宇川診療所運営事業	京丹後市

●障害防止事業・・・１件

事　　業　　名	事業主体
尾和用水路改修事業	京丹後市

【障害防止事業】

尾和用水路

【交通環境整備関係】

●道路改修等事業・・・４件

事　　業　　名	事業主体
浜丹後線（上野平バイパス、宮バイパス） 間人大宮線 網野岩滝線（外村バイパス） 178号線（袖志工区、カマヤ工区）	京都府

【道路改修等事業】

間人大宮線（大門橋右岸から撮影）

補助事業等実績①

●再編交付金事業

再編関連特定 周辺市町村	京丹後市
交付期間	平成25年度～同30年度までの6年間
交付総額	約32億1千万円（通知額）
主な実施事業 （H25～R1） H31･R1以降は、再編交付金により造成した基金を活用し事業を実施	【防　　災】有線放送設備（袖志･尾和）、中浜消防車庫、京丹後市ハザードマップ作成　ほか 【教　　育】小･中学校情報教育環境整備、普通教室等空調化工事、地区集会施設　ほか 【医療福祉】市民総合検診、宇川診療所運営事業、高齢者インフルエンザ予防接種　ほか 【公　　園】袖志区区民交流広場、親子ふれあい広場　ほか 【環境保全】衛生センター処理システム整備、廃棄物処理施設整備　ほか 【交　　通】袖志漁港操業環境整備、尾和区内道路整備、久僧中浜線改良　ほか 【生活安全】市内LED防犯灯･防犯カメラ設置、袖志漁港中央防波堤整備　ほか 【企業育成】袖志共同作業所、有害鳥獣防除施設、間人漁港荷捌所整備　ほか

情報教育環境整備

親子ふれあい広場整備助成事業（袖志区）

間人漁港荷捌所等整備事業（基金）

補助事業等実績②

●障害防止事業

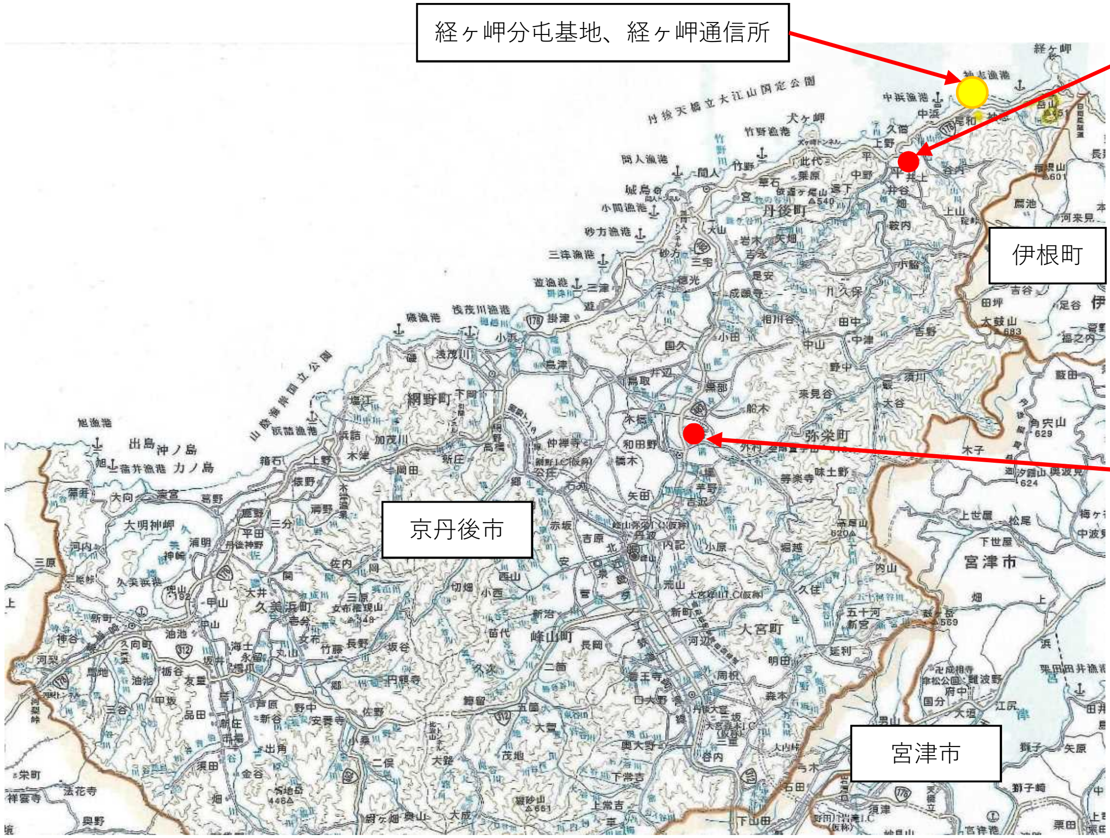
補助金等総額（H26'～R3'）	実　施　事　業　名　等
事　業　費 ： 約3億7千万円 国庫補助額 ： 約3億7千万円	尾和用水路改修事業（平成26年度から継続）

尾和揚水機場整備

補助事業等実績③

●民生安定事業（一般助成）

補助金等総額(H27'～R3')	実　施　事　業　名　等
事　業　費 ： 約1億6千万円 国庫補助額 ： 約　 9千万円	高規格救急自動車(平成27年度) 除雪ドーザ(平成27年度) 消防ポンプ自動車(平成30年度、令和3年度) 救難施設(ヘリポート)【旧溝谷小】(平成28年度～同29年度) 救難施設(ヘリポート)【旧宇川中】(令和元年度)



救難施設（ヘリポート）【旧宇川中学校】

救難施設（ヘリポート）【旧溝谷小学校】

補助事業等実績④

●道路改修等事業

補助金等総額（H25'～R3'）	実　施　事　業　名　等
事　　業　　費 ： 約65億3千万円 国庫補助額等 ： 約44億1千万円	浜丹後線　（平成25年度から継続） 間人大宮線（平成25年度から継続） 178号線外1（平成27年度から継続） 網野岩滝線（令和元年度から継続）